



タモトユリ

1月号

十島村立
口之島小中学校
児童生徒会新聞
1月28日発行

餅つき大会

誰が上手につけるかな？

僕にとって、餅つき大会は四回目でした。今年もいつもと変わらず、大変でした。早くつかないと、お餅は固まります。早く形を作らないと固まってしまいます。だから、何より速く動かないといけません。また、トラブルがあり、機械が動かなくなったり、餅が激熱で落ちそうになったりしました。しかし、島の人や先生たちのおかげで、お餅を作ることができました。



他の子どもたちにも感想をもらいました。

もちつき大会が、学校でありました。学校には、おもちを混ぜる機械がありました。そして、ワクワクしながらやりました。最初にぼくたち白組は、おもちを丸めて平べったくしました。その間で赤組はもちをついていました。そして、あつという間に交代の時間がきました。ふっくらのお餅ができたので、僕たちがつきました。そして、赤組がもちを丸めて、もちつき大会が終わりました。餅つき大会は楽しく、いっぱいおもちがで

島の人たちに配るのは大変だったけど頑張ったお餅はもっと美味しくなっていました。

文責：小五



祝102歳 ヒデ子さんの誕生日

南日本新聞コンクール1席受賞の報告とともにお祝いをする！

1月15日は、ヒデ子さんの102回目の誕生日でした。ヒデ子さんは、昨年7・9月号の特集でインタビューをさせて頂きました。お祝いと報告に伺うと、「長生きして、いろいろなものを残していきたい。」と語られました。僕たちに自分の姿や生き方を語ることで大切なふるさと口之島で暮らし、残していきたいのかなと感じました。 文責：



タモトユリ調査隊

～まだ知られざる口之島の歴史～
口之島の不思議にせまる!!

今回は、口之島の医療についての不思議にせまるために、口之島で最初に看護師になられたミネ子さん（八十二歳）にインタビューをしました。

—どんな仕事をしていたのですか。

内科、外科、産婦人科等に勤務していました。救急車の受け入れや出産のお手伝い、手術の立ち会いなどもやっていました。

—一番大変だった科はどれですか。

産婦人科です。障害がある子どもが生まれてくるときが辛いです。お母さんに見せなくてはいけません。見せて納得させないといけない。だから、後のフォローとかすごく大変です。お母さんの気持ちを考えると可哀想で辛かったですね。

—看護師になろうと思ったきっかけは何ですか。

小五のとき、父親が病気のため目の前で死亡するのを見てから看護師になり人助けがしたいと思いました。

—やりがいは何ですか。

人が喜んで、治って帰る。そういうときにやりがいがあります。退院するとき、感動してこの仕事してよかったなと思います。

—辛いことはありますか。

救急車が来ても助けられないときが一番辛かったです。外科にいるときは、交通事故等で死亡する姿を見ることも辛かったです。

—島と県の違いはあるのか。

医者がないでも対応しないといけません。また、都会では救急車がすぐ来るけど、島ではヘリコプターが来るまで、四時間・五時間かかるから、その間の対応が大変です。助かりそうな人でも、亡くなることもあります。そして、昔は電話だけで医者に症状を伝えなければいけませんでした。



昭和二十八年に口之島中学校を卒業したミネ子さん。ミネ子さんが中三のときに書いた貴重な資料が創立八十周年記念誌『前岳』中に、見つかりました。その題名は「父の死」。ミネ子さんが看護師になろうと思ったきっかけであるお父さんの死を受け止める話です。学校を抜け出して、急いで家に向かう場面から、やさしかったお父さんが亡くなる瞬間、お父さんが亡くなってから生活が苦しくなったことまでのミネ子さんの体験が書かれています。お父さんの死をきっかけに、看護師になろうと決意し、それを貫き、実現させたことやいろいろな大変なできごともある中で看護師として頑張ってきたことが知れてすごいと感じました。また、昔の医療は大変だと思いましたが、今も私たちがとても恵まれていると思えました。ミネ子さんみたいに努力をしたとも思いました。



インタビューする様子

文責：小五

新年

学年ごとの発表～楽しいクリスマス会～



中2 ○○

私は、この日のために折り紙作りをがんばっていました。そして、皆の待ちに待ったクリスマス会でした。くちっこの二人のかわいいダンスからスタートして、三・四年のかっこいい発表・五・六年の面白すぎるダンスの後は、私たち中学生の発表でした。イントロクイズをしたのですが、本番前から練習をたくさんして、会場の皆さんに楽しんでもらうことができ、うれしかったです。景品として作った鬼滅の刃の折り紙もすぐになくなって喜んでもらうことができましたよかったです。プレゼント交換まですべて楽しかったです。

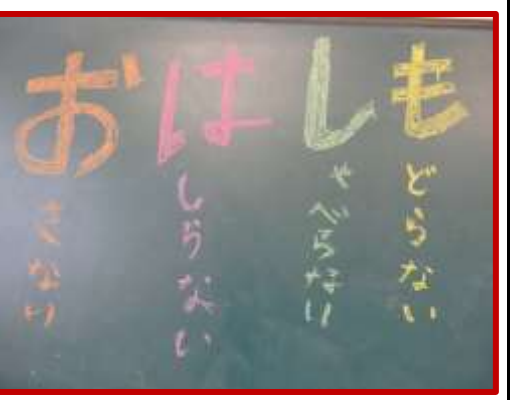
《中一》



十二月十九日(土)にクリスマス会がありました。クリスマス会ではくちっこ園ほどではありませんが、クリスマスツリーがござってありました。最初のくちっこ園の発表ではたつき君とゆのちゃんが「クリスマスシャンシャン」という曲を踊っていました。私たち三・四年生の発表は、詩の暗唱ゲームズバージョンがうけていました。五・六年生は「ライザップ」の夜にけるダンスをしていました。中学生のイントロクイズの景品が折り紙でしたが、クオリティーが高くてすごかったです。

《小三》

クリスマスが今年もやってくる♪
十二月十九日(土)、体育館でクリスマス会がありました。私たち五・六年生はこの日のために出し物の練習をたくさんしました。発表の順番は、話し合いの結果くちっこ三・四年生→五・六年生→中学生の順番で私たちは三番目でした。三・四年生の発表が終わって、いよいよ私たちの番です。今年流行した『夜に駆ける』のダンスをしました。このダンスはすごく難しく、一回踊るだけでとても疲れます。お手本とは反対にしないといけないから難しいけど、ミスすることなくできてうれしかったです。とても思い出に残るクリスマス会になりました。《小六》



自分の命は「おはしも」で……!

マッチ一本火事のもと(カカツ)

一月十五日(金)に、地震が起きた後に家庭科室で火災が起きてしまうということを想定した避難訓練がありました。今回は、DVDを見て、どう対処すれば良いかを学びました。

他の子どもにも感想をもらいました。

一回目の放送でみんなが静かにして机の中に身をかくしました。次に、二回目の放送では、「家庭科室で火事になりました。」という放送がありました。みんなヘルメットをかぶって整列し体育館に向かいました。体育館には、スクリーンがあって地震と火事のことについての映像を見ました。多くの知らないことが学べてあらためて地震や火事に気をつけたいと思えました。今回学んだことをこれからもしっかりとできるようにがんばりたいと思います。《小四》

今回の避難訓練で、火災が起きた場合は、「おはしも」という言葉を知っておけば良いことや、地震のときには、頭や足を守るために、バックやクッションを使って防ぐなどのことを学びました。地震や火災は、いつでも起きるかわからないので、今回学んだことを頭に入れて避難できるようにしたいです。

文責…中二

BRYAN CORNER

アメリカでは新年抱負を決めるのはとても人気が習慣である。ほとんどの新年抱負が、自己改善のことを中心に展開していると思う。例えば、食生活で栄養バランスを整えること、運動の量を増やすこと、新しい技能を身に付けること。そして自己改善以外にも、お金に関する抱負や、自分のキャリアを進める抱負もある。

2020年にはコロナウイルスのせいで多くの人は家族に会えなかつたので、今年ができるだけ家族と一緒に過ごす抱負に決める人が多いのではないのでしょうか。児童生徒の新年抱負を紹介したいと思います。どうぞお読みください。

《ALT》

What is your goal for this year?
My goal is to read 24 books. (B.S.)
My goal is to study English and Japanese. (F.M.)
My goal is to study Japanese. (C.H.M.)
My goal is to study history. (S.K.)
My goal is to study math. (H.N.)

私のおススメの○○

私のおすすめの遊びはスライム作りです。おススメする理由は、伸びておもしろいからです。作り方を紹介いたします。まず、洗濯のりを入れます。次に水を入れます。最後にホウ砂を入れて、自分の好きな色やデコレーションをしたら完成です。このように簡単なのでぜひ、スライムをつくってみてください。また、私は悪石島に転校します。今まで温かく見守ってくれた島民の皆さん、ありがとうございました。《小二》